
地域の取り組み・課題集

～ きずなづくりトークのまとめ ～

山田小学校区編

—改訂版—



平成 27 年 3 月

三島市

凡例(各意見に印をつけて、いつ出された意見かわかるようにしています)

△：H23.06.16 テーマ「1 地域の防災力向上と被災時の対応

「2 高齢者から子どもまで多世代の交流による活性化

▲：H23.11.10 テーマ「1 地域の防災力向上と絆づくり～前会の議論を受けて～

「2 ごみ問題と美しい地域づくり

○：H24.07.05 テーマ「みんなでふれあい創出」

●：H24.10.19 テーマ「地域の防災力～みんなで何ができるか考えよう～」

◇：H25.05.28 テーマ「地域の実状に応じた防災訓練のあり方について」

◆：H25.11.07 テーマ「地域の実状に応じた防災訓練のあり方について」

□：H26.07.04 テーマ「防災訓練」「地域の連携」

■：H26.10.31 過去の意見等を参考に関心の高いテーマに絞り、テーマ別のグループ会議を行いました。

テーマ「①平日昼間の防災体制を整えよう！」(P6 掲載)

「②子どもの安全の為に、地域でできることを考えよう！」(P7 掲載)

◎：市の意見・回答

⇒：課題解決に向けた取り組み事例

(※担い手略称 自：自治(町)内会、民：民生委員、消：消防団、ス：スポーツ推進委員、子：子ども会、体振：体育振興会、老：老人会)

	課題	担い手	
防災訓練	①訓練内容	<p>●「震度7の地震が発生」など、市で訓練テーマを設定してほしい。</p> <p>◇三角巾の評判があまり良くない。三角巾に代わるものがないか。</p> <p>⇒◇「黄色い旗」「黄色いハンカチ」などの取組み実施。(三恵台)</p> <p>◎「黄色いハンカチ」は家族全員無事という印。周知徹底してほしい。</p> <p>◎「黄色いハンカチ」掲示は空き巣が心配という意見がある。安否確認後、警備要員による町内の見回りなどの対策をとってほしい。</p> <p>⇒●中学校に生徒の訓練参加を依頼。充実した訓練になった。(旭ヶ丘)</p> <p>⇒◆新しい取組みを実施。(下水道や段ボールを使用した訓練、中学生担当でビニール袋を使用した炊飯、AED 訓練など) (旭ヶ丘)</p> <p>□全27の組単位で訓練を行う。消火訓練や、消火器や消火栓の場所を確認していく。各組長が積極的に参加しないと意味がない。(三恵台)</p> <p>◇大きな訓練よりも小さな訓練を多く実施するよう、警察署から指導を受けた。</p> <p>◇夜間停電があったが本当に困った。夜間の訓練も必要。</p> <p>◇防災ベルの復旧方法を大人も生徒も知っておかないと対応できない。</p>	<p>自</p> <p>市</p> <p>自</p> <p>自</p> <p>自</p> <p>自</p> <p>小・中</p>
	②6 町内合同防災訓練の実施	<p>⇒◆地域で協力し、6 町内合同防災訓練を実施。(旭ヶ丘、山田住宅、山田、若松町、青葉台、西旭ヶ丘)</p> <p>◇実際に山田小に学区の住民が集まった時、どうなるのか知りたい。</p> <p>◆実際に訓練に参加できる人数は 150～170 名程だと思う。出来るだけ皆が参加できるよう検討したい。</p> <p>◆身体障害者などのサポート方法なども考えたい。</p> <p>◆6 町内以外の方も参加できるよう、連携を深めていきたい。</p> <p>◆日頃の地域と小学校の情報交換や協力が子どもたちの安全につながる。山田小としてもやれる限り協力していきたい。</p> <p>◆今回の経験を活かし、今後中学生の参加も考えていきたい。</p> <p>◆中学生は部活動で参加できないことが多いが、開催日程が6 町内で同日になるのであれば参加しやすくなる。(山田中)</p> <p>◎訓練時、各町内で集合し会長から挨拶してほしい。顔がわかると子どもの見守りにつながる。</p> <p>□一番大事なことは各自治会で勝手に動くのではなく、6 町内会がまとまること。</p>	<p>自・小・市</p> <p>自</p> <p>各団体</p> <p>小</p> <p>中</p>

	課題	担い手
<p>③防災組織の体制強化</p>	<p>⇒◇消防団員が3名確保され、分団が出せることになった。(旭ヶ丘)</p> <p>●地域で育った若い社会人が地域行事や訓練に参加できるようにして、消防団員や災害時の即戦力として活躍してほしい。</p> <p>△□平日昼間、高齢者だけにいるときが心配。自主防災会メンバーの不在時に対応できる仕組みづくりをしていかなければならない。</p> <p>→【■①テーマ別会議(P6)に発展】</p> <p>□役員の日中の居場所の把握や災害対策について、老人会と町内会役員で話し合い、ある程度の情報を整合しておかないといざという時行動できない。</p> <p>□AEDや消火栓の位置を、住んでいる地区に関係なく誰もがわかるといい。</p> <p>⇒□町内の水道の路線図で、消火栓の位置を把握。(加茂)</p> <p>⇒◇防災情報記載のチラシ作成・全戸配布実施。(旭ヶ丘)</p> <p>◇電気関係に強い方、関連会社に勤めている方に防災機器メンテナンスの協力を仰ぐと良い。地域の人材活用。</p> <p>◇看護師、医者など協力してもらえる方には、事前に情報を出してもらえると良い。人材リストの作成。</p> <p>⇒◇防災機器(ポンプやライト等)のメンテナンス部がある。(三恵台)</p> <p>⇒□地域の人材活用と育成。地域にいる救急救命士や防火管理者の指導による経験を中学生に積ませている。(加茂)</p> <p>◆山田は土砂災害の危険地区がほとんどで、避難経路がどうなるかわからない。危険区域について皆で話し合いたい。</p> <p>⇒●自主防災とは別の防災部を結成。備蓄、耐震補強など見直し中(三恵台)</p> <p>◎災害時の連絡体制を確認してほしい。避難準備・勧告・指示と段階的になる。</p> <p>◎農家のトラクター・備蓄食糧などが災害救助に役立つ。他地区の救助も念頭においてほしい。</p>	<p>消防団 自・消 自 自・老 校区全体 自 校区全体 自 校区全体</p>
<p>④要援護者の救助</p>	<p>◎要援護者救助はリヤカーや車椅子が有効。補助金を活用してほしい。</p> <p>◇高齢者世帯も訓練に参加出来るようにするのが今後の課題。</p> <p>●要援護者1人に対して2人ボランティアをつけたい。要援護者とボランティアで普段から交流を図ってほしい。</p> <p>◎要援護者リストを活用し、各町内でサポート体制を整備してほしい。</p> <p>◆援護される側も情報を自治会に教える必要がある。</p> <p>◇要援護者に関しては自治会と協力したい。(民生委員)</p> <p>⇒◇災害時要援護者サポート隊が結成され、救出訓練を実施。(旭ヶ丘)</p> <p>◎「要援護者サポート隊」は市内にまだ数えるほど。各町内で検討してほしい。</p> <p>□サポート隊を作るには、役員経験者を取り込んでいくことや、自治会と民生委員の連携・協力が一番大事。</p> <p>◇◆非常時に要援護者に配布した笛を使用することを周知徹底し、有効活用したい。訓練でも活用したい。</p> <p>◇笛を何種類か用意し、運動会で音当て競技なども面白いかもしれない。</p> <p>⇒◆役員が要援護者宅に伺い、実際に笛を吹き不安軽減を図った。(三恵台)</p> <p>◆園児は要援護者の中に入れるべきだと思う。幼稚園など子どもたちを預かっている立場では、安全な避難は大きな課題。</p>	<p>自 自・民 校区全体 自 体振 自</p>

	課題	担い手
⑤子どもの訓練参加	<p>⇒◇小中学校からの呼びかけや参加証明書で子どもの参加が増加。 ◇今年も学校からの参加呼びかけと参加証明書発行をお願いしたい。 ◎各町内会は訓練での中学生の役割を検討してほしい。 ◇学校へ地区行事の情報を教えて欲しい。行事に参加し、地域の人に子どもたちを知ってもらうことは重要。 ◇中学生は9月、10月は部活の新人戦がある。訓練時間を試合時間と調整する工夫してほしい。 ◆参加率をあげる工夫を市でも行なってほしい。(例:小中高共通のカードを用意し、訓練参加でポイントがたまると市長から図書券が進呈されるなど)</p>	<p>小・中 小・中 自 校区全体 自 市</p>
⑥地域と幼小・中学校の連携	<p>●町内会だけでは住民への強制力がない。幼稚園・高校も含めて地域全体で協力していきたい。 ◆園で訓練ポスターを掲示し保護者へ周知するなどの協力ができる。 ◇◆災害時の幼稚園と地域の連携、情報収集が課題。状況にあわせた避難や、場合によっては地域の援護が必要になる。園の存在を知ってもらうためにも、なるべく地域の行事には参加したい。(旭ヶ丘幼稚園) ⇒◆独自の避難経路マップ・災害マニュアルを作成。(旭ヶ丘幼稚園) ●災害時、子どもたちが周りの人にどう声をかけ、どう動いたらいいか学べるようにしていきたい。(山田小) ●今後は中学校も連携し、幼・小・中合同の引渡し訓練を行いたい。 ●災害発生当日に保護者が迎えに来られない場合、備蓄物資に子どもたちの食料が確保されていないことが問題。(山田中) ◆参観日などにPTA・保護者も巻き込み部分訓練を行なってほしい。防災知識を小・中学生のうちに教え込みたい。 ◆山田中は土砂災害が懸念されるので、下校時に震災が発生した場合の対応が必要。川を越えたら家に帰るなど具体的な指導をしてほしい。 □中学生のまとめ役(責任者)を毎年、PTAから選出してほしい。 □地域の組織の中で、PTAが役割を持った方がいいのか?学校で決めるには、PTAとの話し合いが必要になってくる。</p>	<p>校区全体 幼 自・幼 小 幼・小・中 自・小・中</p>
⑦避難所運営	<p>●職員不在の場合、地域の方に避難所運営をしてもらう必要がある。 ◇災害時の情報の収集・共有の方法を明確にしてほしい。 ●市の教育委員会に中学校校舎へ水タンクの設置をお願いしたい。(山田中) ●二次避難所である学校に来るときは、3日~1週間分の食料を持参するよう、住民に意識を変えてもらいたい。 ◎市内全ポストに二次避難所名を明記した。地区住民でない被災者へ避難所の案内をしていると理解してほしい。 ○自治会連合会の地区の分け方を校区別にしていただければ避難所の問題を解決できる。役員として働きかけるが、市も考えてほしい。</p>	<p>校区全体 各団体 市・中 校区全体 自・市</p>

	課題	担い手	
地域の連携	①協議会の再建	<p>□町内会長や学区の関係団体が集まって、情報交換や防災など色々なことを協議する機会はとても大切。ただし、無理して何かするのは考えものだと思う。</p> <p>◇◎各自治会長が話し合える環境や、自治会と民生委員の連携のためにも山田小学区協議会をまた立ち上げてほしい。</p> <p>◇協議会を再建して体育振興会に予算を回してほしい。</p> <p>◇自治会と民間の活動団体を行政がコーディネート（調整）してほしい。</p> <p>◎自治会は専門知識を持った団体（NPO 等）にサポートしてもらおう関係を築くとよいと思う。</p>	<p>自・民</p> <p>自・体振 各団体・市 各団体・自</p>
	②運動会（スポーツフェスティバル）の開催	<p>●まず学校と地域がコラボし、少しずつ地域の方が参加できるようにしたい。</p> <p>●自治会と協力しながら、若者が参加できる行事を考えたい。</p> <p>◇体育振興会の位置づけを明確にして、バックアップしてもらえないか。半日でもいいので運動会を実施したい。（体育振興会）</p> <p>◇運動会は高齢者向けの種目を考えてくれれば高齢者も参加可能。</p> <p>⇒●◇小中学校体育祭で父兄と生徒の綱引き実施。つながりが深まる。</p> <p>⇒◆今年初めて地区運動会（スポーツフェスティバル）を実施。</p> <p>◆スポーツフェスティバルに参加したが町内で温度差を感じた。町内会・自治会・民生委員などの普段からの連携が重要。</p>	<p>小 PTA</p> <p>自・小・中 自・体振</p> <p>小・中</p> <p>校区全体</p>
	③運動会と防災訓練の合同実施案	<p>◇地区の運動会と防災訓練をかねて防災訓練会のようなことができないか。皆が楽しく参加でき防災訓練でもある運動会を考えてほしい。</p> <p>◇山田中の体育祭の奉仕作業の後、小さな防災訓練を行うといいのでは。</p> <p>◆これから話し合い、訓練と運動会を融合させていきたい。</p> <p>◆スポーツフェスティバルの中で小・中学生参加の防災競技や、防災知識を得る講演などを検討していきたい。</p> <p>◎梅名では運動会と防災訓練を合わせて実施。参考にしてほしい。</p>	<p>自・体振</p> <p>中 自・ス・体振</p>
	④子どもの見守り	<p>○□学区が広いと、登下校の交通安全対策について子ども達の意識を高めることと、地域の協力が必要。→【■②テーマ別会議(P7)に発展】</p> <p>◎登下校時の見守りは、町内会の集まりなどでボランティアを呼びかけるなど、見守りの体制作りを進めてほしい。</p> <p>□下校時には、家にいる人が窓から様子を見るだけでも違うと思う。子ども達に安全な環境を作ってあげてほしい</p> <p>□加茂インターができて交通量が増加。信号のない横断歩道があり、スピードを出して走ってくる車も多く怖い。信号を設置するなどの対策をお願いしたい。</p> <p>◎信号機は警察の所管なので、お願いはしているがすぐには難しい。市としてできることは看板の設置などになる。</p>	<p>校区全体</p> <p>市</p>
	⑤住民のふれあいの場づくり	<p>○□子ども会・老人会が衰退。子ども会独自で活動を行うのは困難。色々な方の助けが必要。その為には子ども会からも声を発していかななくてはならない。</p> <p>⇒□水曜・土曜午後地域協力を得て「旭ヶ丘カフェ」を開催。（旭ヶ丘）</p> <p>⇒□「地域のふれあいの場づくり」を始めた。（地域包括支援センター）</p> <p>⇒□空き地を利用した花壇づくりの参加を呼びかけている。（三恵台）</p> <p>⇒□10月「スポーツフェスティバル&山田小交流行事」を企画。（山田小 PTA）</p>	<p>子・各団体</p> <p>自</p>

■H26. 10. 31 テーマ①「平日昼間の防災体制を整えよう！」

(テーマ①班:参加人数7人)

●平日昼間の防災体制について、校区の防災体制づくりも含めて皆さんのアイデアや意見を出し合いました。

平日昼間に災害が発生したら、
どんな事が困るか？

リーダーがない

- ・まとめる人がいない
- ・指揮するリーダーになる人が誰になるのか心配。組織的なアクションが取りづらい。

人手不足

- ・共助体制を作るのに人員が不足。特に男性がいない。
- ・救出、救助を行える人が不足する。
- ・火災が発生しても消火栓、ポンプを使える人がいない。

高齢者の救出

- ・高齢者(足の悪い人、認知症の方)の避難。
- ・高齢者が多い団地の為、自治会館まで行けるかが不安。

情報収集、状況確認

- ・困っているお宅(個人)が、素早く特定できない。

体制がとれていない。
防災訓練にとどまっている。

解決策を考えよう！

★声かけ避難

- ・避難する際は隣近所声かけをし、安否確認をしながら避難する。状況把握ができる。

★情報交換の場

- ・他自治会のやり方を参考にする。任期、選任方法、組織構成等を知りたい。



— 体制づくり —

★サブグループを作る(2重体制)

- ・班長がいなくても、サブ班長が指揮する体制。
- ・例:消火班の班長に、サブの班長をつける。

★サブの人数を増やす。

日中、家に居る
●65歳以上の方、
●女性 を活用しよう！
リーダー(班長)は、ハードルが高く重荷に感じられるが、サブであればハードルが低く取り組みやすい。

- ・自治会の副会長クラスを自主防災会に引っ張りこみ今まで班長だった人をサブ班長に回す。
- ・防犯パトロールしている方々と連携をとる。

★女性・高齢者の防災訓練

- ・女性でもポンプが使えるように手順書(マニュアル)を作成した。
- ・組長、班長会で講習をするが、そこから広がらない。地域の人が集まる場で、少しでも講習の時間が設けられれば。
- ・気軽に誰でも参加できる勉強会や、皆がわかるシステムがあると良い。



★防災委員の任期は複数年にする

任期が1年では短いと、組織(防災活動)の維持・レベルアップができない。
⇒理由がない限り、役員を継続してもらう。

- ・防災部門に関しては、町内会役員の留任を。役員任期終了後は、消火班や支援員として残した。
- ・防災委員会のメンバーを7人(役員経験者)ほど人選し、任期2~5年とすることを提案予定。

★人数を増やす方法(声かけ)

- ・回覧は見ないので効果なし。口コミが良い。
- ・防災役員OBを頼る。
- ・人が集まる場所でお願ひする。情報発信。



解決の為には「地域一斉のルール作り・制度化」が必要!!

- ・地域全体で一斉にルール化しないと、解決にならない。
- ・複数の自主防災会の連携、コミュニケーションが必要。各町内の足並みをそろえたい。
- ・小さい町内会では、独自で行うには限界があるので、他と協力ができれば強化につながる。



■H26. 10. 31 テーマ②「子どもの安全の為に、地域でできることを考えよう！」

●交通量が増加したことによる子どもの交通安全対策や、下校時の不審者対策、山田小を中心とした地域の交流を促進することについて皆で話し合いました。

ふだんの生活の中で、子どもが危険になる場所や時間帯は？

危ない場所

- ・信号のない横断歩道
 - ・だれもいない住宅地（通学路）
 - ・住宅地の道路が入り組んでいる
 - ・抜け道として住宅街を使う（信号がないからスピードが速い）
- ⇒子どもは油断している
⇒思わぬ場所の交通事故が心配

危ない時間帯

- ・登下校時交通量が多く心配
- ・学校外や留守番など子どもだけの時のケガ等

かけこみ 110 番の家

- ・人がいないことも多い
- ・緊急時に駆け込める家の確認ができていない

不審者情報が多い・・・

- ・子ども達が自分の知らない人に声を掛けられると不審者ではないかと心配になる。せっかく地域の方が声を掛けてくれたのに申し訳ない
- ・1人で歩いている子への声掛けの難しさ

■不審者と思われてもいい！

- ・逆に皆で不審者の格好をして歩いてみると、子ども達が危険を実感(リスク管理)できるかも？



■地域のひと顔見知りになろう！！

- ・地域のお祭りや運動会などへ親子で参加 ⇒ 地域のひと顔見知りになるチャンス
- ・近所付き合い＝空き巣対策になる
- ・親の背中を見て子どもは育つ。あいさつはまず親から
- ・しゃぎり・子ども会神輿参加者は年々増加

加茂インター開通にともなう交通量の増加

- ・交通量が多い時間帯は朝・夕
- ・地域の方が心配し、朝の車の台数計測を実施
- ・開通後 3 件交通事故あり / ミラーも二回交換
- ・カーブになっているので前の車に気付かず追突
- ・子どもから見てもわかりにくい
- ・「速度おとせ」の看板があるが効果は？
- ・道路に車のスピードを落とす工夫をしてほしい

■かけこみ 110 番の家を確認しよう
親子であいさつしておくことが大事！

■市と対策協議
市が最大限できることを実施予定

顔見知りになる機会を増やすには？

■山田小を中心とした交流を広げよう

- ・運動会がスポーツフェスティバルという形で復活。今年は PTA 行事と同時開催
- ・「地域でやろう」という機運が高まる

■中学校の協力

- ・スポーツフェスティバルの「部活対抗リレー」に、顧問の先生が半強制的に中学生を参加させてくれた（参加するとすごく楽しむ）
- ・先生の後押しが効果的
- ・継続参加すると皆顔見知りになる

きっかけが大事

■子どもの安全を守るため地域でできることは？

- ・交通ルールを守るよう、大人へ働きかけていく
- ・小学校・家庭で子どもに「危ないよ」と頻りに声掛け
- ・子どもに繰り返し交通の危険を伝える

見守り活動

- ・小学校では地区ごとに日を決め、年に数回見守り活動を行なっているが、頻繁だと負担も大きい
- ・下校時は帰る時間帯がばらばらで見守り時間が長い

■地域の方へ見守りの協力を求めよう！

- ・地域の方（老人会など）にできる範囲で協力してもらいたい
- ・散歩時間などの工夫、ワンワンパトロールなど（防犯にもなる）

■父親（おやじ）が活動の中心に！

- ・自治会レベルだと錦田地区と分かれるので難しい。母親も手一杯
- ・おやじの会で「山田小でどんと焼き・凧揚げ・自転車に乗る練習など」の企画案あり
- ・少し手のあいた父親が参加・企画＝自分達の仲間づくり＝地域の子どものためになる

- ・地域の方も皆やりたい思いは一緒
- ・大勢の仲間がいれば皆でやりたい

◎中学生は頼りになる！

- ・防災訓練時、リヤカーを使った搬送や炊飯で中学生が活躍
- ・役割を持たせるとしっかりやる
- ・「中学生はこういう力がある」と皆に周知するべき。中学生も役割を自覚し自信になる

子どもの安全は地域の方と顔見知りになることから始まる。
地域の方と協力できる関係を築き、皆が安心できる地域を目指そう！



補足資料

きずなづくりトークの意見まとめ

これまでの「きずなづくりトーク」で皆さんから出していただいた地域の現況・課題を整理しました。

※平成 23～26 年度きずなづくりトーク参加団体一覧

自治（町内）会	各種団体	幼・保・小・中
旭ヶ丘町内会 加茂町内会 三恵台自治会 山田町内会 若松町自治会 初音台町内会 西旭ヶ丘町内会 青葉台自治会	民生委員児童委員協議会 消防団第 1 1 分団 中央婦人学級 エコリーダー 交通安全母の会 地域づくりコーディネーター 地域包括支援センター	旭ヶ丘幼稚園 旭ヶ丘幼稚園 P T A 加茂保育園 山田小学校 山田小学校 P T A 山田中学校 山田中学校 P T A 三島市 P T A 連絡協議会
老人クラブ	スポーツ関係	子ども会
旭ヶ丘旭寿会 若松町若松会	スポーツ推進委員会 三島市体育振興会 体育指導員会	若松さくら子ども会 初音台子ども会 三恵台子ども会 加茂子ども会 三島市子ども会連合会

（平成 2 3 年度は「地域づくり市民会議」の名称で開催しています）

凡例(各意見に印をつけて、いつ出された意見かわかるようにしています)

△：H23.06.16 テーマ「1 地域の防災力向上と被災時の対応」

「2 高齢者から子どもまで多世代の交流による活性化」

▲：H23.11.10 テーマ「1 地域の防災力向上と絆づくり～前会の議論を受けて～」

「2 ごみ問題と美しい地域づくり」

○：H24.07.05 テーマ「みんなでふれあい創出」

●：H24.10.19 テーマ「地域の防災力～みんなで何ができるか考えよう～」

◇：H25.05.28 テーマ「地域の実状に応じた防災訓練のあり方について」

◆：H25.11.07 テーマ「地域の実状に応じた防災訓練のあり方について」

□：H26.07.04 テーマ「防災訓練」「地域の連携」

■：H26.10.31 過去の意見等を参考に関心の高いテーマに絞り、テーマ別のグループ会議を行いました。

テーマ「①平日昼間の防災体制を整えよう！」(P6 掲載)

「②子どもの安全の為に、地域でできることを考えよう！」(P7 掲載)

◎：市の意見・回答

(※担い手略称 体振会：体育振興会、スポ推委：スポーツ推進委員)

	現況	課題	担い手	結果・実績
1.	防災訓練			
	①訓練内容			
	<p>▲10/16 公園・集会所・旭ヶ丘幼稚園の3箇所です炊き出し・避難所体験実施。組単位ではなく自主避難にした。中学生も炊き出しの手伝いなどで参加。また、要援護者を含め900名の安否確認を区長にやってもらった。(旭ヶ丘)</p> <p>●中学校に生徒の参加を依頼。中学生には救護班、消防班など役割分担してもらった。参加者405名、第11分団からも20名参加し充実した訓練だった。(旭ヶ丘)</p> <p>◇震災を機に旭ヶ丘公園での訓練を2年継続。高齢者も多く、参加者は増加傾向。防災訓練は楽しいと好評。(旭ヶ丘)</p> <p>◆今年新しい試みとして下水道や段ボールを使用した訓練、中学生担当でビニール袋を使用した炊飯、AED 訓練などを実施した。(旭ヶ丘)</p> <p>●市で「震度7の地震が発生」等テーマを設定してほしい。</p> <p>●◇毎年同じような訓練内容になっている。(若松町)</p> <p>◇昨年は消火器と消火栓の位置確認をしながら避難訓練実施。(西旭ヶ丘)</p> <p>◇昨年子ども会が関わり、避難した印として「黄色い旗」を玄関先に掲げた。今年は「黄色いハンカチ」を掲げる予定だが、空き巣を危惧する意見もある。(三恵台)</p> <p>□三恵台では昨年、12月第一日曜日に訓練をやったところ、寒くて仕方がなかった。今年の訓練は11月に実施する。(三恵台)</p> <p>◆実態に即した訓練ということで、9月に水消火器、1月に粉消火器、同時に起震車体験を予定。世帯数の4割以上の参加がある。(初音台)</p> <p>□三島市は火災と家具の転倒による怪我が心配されるので、この2本を柱に消火器や担架などの訓練を行なっている。</p> <p>◇職場のある警察署からは、大きな訓練は必要ない、小さな訓練をたくさん実施してくれと言われ</p>	<p>◎訓練のテーマについては来年度の防災会で話したい。</p> <p>◇三角巾の評判が悪い。三角巾に代わるものがないか。</p> <p>◎「黄色いハンカチ」は避難した印ではなく家族全員無事という印。周知徹底してほしい。</p> <p>◎安否確認後、警備要員による町内の見回り等の対策をとってほしい。</p> <p>□全27の組単位で訓練を行う。消火訓練や、消火器や消火栓の場所を確認していきたい。各組長が、積極的に参加しないと意味がない。</p> <p>◇小さな訓練をたくさんやるというのでは。</p>	<p>自治会</p> <p>自治会 中学校</p> <p>自治会</p> <p>自治会</p> <p>市</p> <p>自治会</p>	<p>⇒●中学校に生徒の訓練参加を依頼。充実した訓練になった。</p> <p>⇒◆新しい取り組み実施。</p> <p>⇒◇「黄色い旗・黄色いハンカチ」の取り組み実施。</p>

現況	課題	担い手	結果・実績
<p>ている。 ◇夜間停電があったが本当に困った。 ◇防災のベルが鳴ると復旧できない。</p>	<p>◇夜間の訓練も必要。 ◇防災ベルの復旧方法を大人も生徒も知っておく必要あり。</p>		
②6 町内合同防災訓練の実施			
<p>◆12/1 第1回目の6町内合同防災訓練を実施予定。(旭ヶ丘、山田住宅、山田、若松町、青葉台、西旭ヶ丘) ◆長伏の大掛かりな訓練を見学し、ぜひやってみたいと山田校区での実施を呼びかけた。山田小に協力を仰ぎ、町内、危機管理課、校長、教頭の10名で4回協議会を開いた。広報として町内に回覧とポスト投函を行なった。 ◆危機管理課から資料・情報を収集し、必要な係りや内容を決定した。来場者には防災倉庫の点検や体験を予定。 ◆実際に訓練に参加できる人数は150～170名ほどだと思う。</p> <p>◆普段からの地域と小学校の情報交換や協力が子どもたちの安全につながる。 ◆開催一回目なので、山田中とは本年度は連携していない。 ◆中学生は部活動があり参加できない。100%の参加を目指しているので6町内合同防災訓練はうれしい。(山田中) □今年も6町内の連携を図ろうと会合の場を設けた。</p>	<p>◇今年は実際に山田小に学区の住民が集まった時、どういう形になるのか知りたい。 ◎訓練時、各町内で集合し会長が挨拶する機会を設けてほしい。顔がわかることが見守りにつながる。</p> <p>◆出来るだけ皆が参加できる方向で実施したい。 ◆身体障害者のサポート方法を考えたい。 ◆6町内以外の方も参加してほしいので、実施後連携を深める方策を考えたい。 ◆山田小としてもやれる限り協力していきたい。 ◆今回の経験を活かし中学生の参加も考えていきたい。</p> <p>□一番大事なことは、各自治会で勝手に動くのではなくて、6町内会がまとまること。</p>	<p>自治会 小学校 市 自治会</p> <p>自治会</p> <p>各団体</p> <p>小学校</p> <p>中学生</p>	<p>⇒◆はじめて6町内合同防災訓練を実施。</p>
③防災組織の体制強化			
<p>◇山田地区は消防団員不足が問題だったが、昨年ようやく3名確保でき、分団が出せるようになった。(旭ヶ丘)</p> <p>△□地震発生が平日昼間の時、高齢者だけで心配。自主防災会メンバーも働いている人が多く、どれだけ集まれるか分からない。</p> <p>□老人会も足腰が弱くて、歩き回るのは無理かもしれないが、災害について町内会役員と、ある程度情報を整合しておかないと、いざという時行動できない。</p> <p>□町内の水道の路線図があり、消火栓の位置がわかるようになってきている。消火栓の開け方を自主防災会の方から、周知してもらっている。(加茂)</p> <p>●自主防災とは別に防災部を結成した。防災部と班長・組長で啓蒙活動を実施。水・食料の備蓄、自宅の耐震補強を一から見直している。(三恵台)</p> <p>◇メンテナンス部がある。ポンプ、ライトなどはメンテナンスが必要。(三恵台)</p>	<p>●地域で育った若い社会人が行事や訓練に参加できるようにし、団員や災害時の即戦力として活躍してほしい。 △それに対応する仕組みづくりをしなければならぬ。 □第一避難地や災害対応を考える上で、「昼間、役員が地元にいるかどうか」を町内会で把握しておくことが、第一段階。 □「防災倉庫に何が入っているのかなど」災害対策について、老人会と町内会役員で話し合う必要があると思う。 □AED や消火栓が町内のどこにあるか、そういう情報を住んでいる地区に関係なく、誰もがわかるいいと思う。</p> <p>◇電気関係に強い方、関連する会社に勤めている方に防災機器メンテナンスの協力を仰ぐと良い。</p>	<p>消防団</p> <p>自治会</p> <p>自治会</p> <p>校区全体</p>	<p>⇒◇地域で話し合い、消防団員が確保された。</p> <p>⇒□町内の水道の路線図で、消火栓の位置を把握。 ⇒●自主防災とは別の防災部結成。 ⇒◇地域の人材活用。(防災機器のメンテ</p>

現況	課題	担い手	結果・実績
<p>□事業部の中に防災部があり、防災部長と班長、組長を主体に、自主防災組織を編制。任期 1 年だと仕事を覚える前に代わってしまうので、2 年任期としている。(加茂)</p> <p>□中学生が戦力になることを踏まえ、自主防災会の中には、救急救命士や防火管理者などがあるので、そういった経験を中学生に積ませるようにしている。(加茂)</p> <p>◆毎月役員会で組長・班長・リーダー達が集まる。(三恵台)</p>	<p>◇看護師、医者など協力してもらえる方には、情報として出してもらえると良い。</p> <p>◆役員会は短時間の防災の話し合いや訓練等を行う良い機会になる。毎年役員が変わることは問題だが、逆に良いこととして考えたい。</p>	<p>自治会</p>	<p>ナンス部がある)</p> <p>⇒□地域の人材活用と育成。(救急救命士や防火管理者の指導による中学生への体験学習)</p>
<p>◇啓蒙活動として、備品や震災時の心得などを分かり易くしたチラシを作成し 500 世帯に配布する。(旭ヶ丘)</p> <p>◇自主防災マニュアルはあるが組長や啓蒙班が活動していない。(若松町)</p> <p>◆市に相談しながら防災マニュアルをわかりやすく改善している。(三恵台)</p>	<p>◇現状に即した形で防災活動を行いたい。</p>	<p>自治会</p>	<p>⇒◇防災情報記載のチラシ作成・全戸配布実施。</p>
<p>●避難場所が山田中になっているが、崖が危険なため自宅に避難することになった。(三恵台)</p> <p>◆山田は土砂災害の危険地区がほとんどで、避難経路がどうなるかわからない。一次避難地の公民館も危険区域になっている。(山田)</p> <p>◎農家のトラクター・備蓄食糧などが災害救助に役立つ。</p>	<p>◆これから危険区域について皆で話し合いたい。</p> <p>◎災害時の連絡体制を確認してほしい。避難準備・勧告・指示と段階的になる。</p> <p>◎他地区の救助も念頭においてほしい。</p>	<p>自治会</p>	
④要援護者の救助			
<p>●◇子どもや高齢者、要援護者など、実際どうやって避難させればいいのかわからない。(西旭ヶ丘)</p> <p>●要援護者リストをつくっても、そこで終わってしまう。ボランティアを決めても災害時に要援護者の近くにいないこともある。(中央婦人学級)</p> <p>◇町内の高齢者居所マップ作成は賛成。要援護者リストを頂ければ地域の要援護者へ配慮出来る。(若松町老人クラブ)</p>	<p>◎要援護者救助にはリヤカーが有効。防災倉庫に車椅子を置いている町内もある。補助金も活用してほしい。</p> <p>◇高齢者世帯も訓練に参加出来るようにしたい。</p> <p>●要援護者 1 人に対して 2 人ボランティアをつけたい。要援護者とボランティアで普段から交流を図ってほしい。</p> <p>◎災害対策基本法が改正され、リストを作成し、サポート体制を各町内で構築することになった。</p> <p>◆援護される側も情報を自治会に教える必要がある。</p>	<p>自治会</p> <p>自治会</p>	
<p>▲今年の防災訓練では民生委員が連絡をとっても繋がらなかった要援護者の確認を区長が実施。大きな前進。(旭ヶ丘)</p> <p>◇◆□民生委員 2 名だけではとてもできないので、自治会長と相談し協力頂き、旭ヶ丘では平成 23 年度から自治会の防災会とは別に、「災害時要援護者サポート隊」を、5 区に 2 名ずつ全 10 名で構成している(前区長含む)。前区長はその地区を把握しているので、参加してもらっている。訓練では背負いかご、2 階からの救出、車椅子の使用等を予定している。(旭ヶ丘)</p>	<p>◇要援護者に関しては自治会と協力したい。(民生委員)</p> <p>□一人暮らしの高齢者調査が民生委員の活動の 1 つだが、「災害時要援護者救助」は自治会が主となって対策を考え、民生委員はサポートをする。</p> <p>◎「要援護者サポート隊」は市内にもまだ教えるほど。各町内でサポート隊結成を検討してほしい。</p>	<p>自治会</p> <p>民生委員</p>	<p>⇒◇「災害時要援護者サポート隊」を結成し、救出訓練実施。</p>

現況	課題	担い手	結果・実績
<p>□他の町内で「災害時要援護者サポート隊」のような活動が広がらないのは、自治会と民生委員の連携が一番のネックになっているからだと思う。</p> <p>□組長や要援護者の方の「向こう三軒両隣」の話になると、皆避けていくのが実情。どうして組に持っていくとうまくいかないのか。</p>	<p>□自治会と民生委員の協力が一番大切だと思う。</p> <p>□「役員経験者を取り込んで、サポート隊を作っていく」と聞いたので、参考に考えていきたい。</p>		
<p>◇要援護者に笛を配布したが活用できていない。</p> <p>◆要援護者に笛を吹いてもらう取組みを実施。役員が自宅に伺い実際に吹いて不安の軽減を図った。(三恵台)</p>	<p>◇非常時に使用することを周知徹底し、有効活用したい。</p> <p>◇笛を何種類か用意し、運動会で音当て競技を行うことなども面白いかもしれない。</p> <p>◆要援護者の笛を訓練でも活用していきたい。</p>	<p>自治会</p> <p>体振会</p> <p>自治会</p>	<p>⇒◆要援護者が実際に笛を吹く取組みを実施。</p>
<p>◆民生委員から何かあれば手伝うとの声掛けがあった。本当にありがたい。(旭ヶ丘幼稚園)</p>	<p>◆園児は要援護者に入れるべき。園など子どもたちを預かっている立場では安全な避難は大きな課題。(民生委員)</p>	<p>自治会</p> <p>民生委員</p> <p>幼稚園</p>	<p>⇒◇園と民生委員の連携がある。</p>
⑤子どもの訓練参加			
<p>●◇学生の訓練参加が多かった。小中学校の協力があり、学校からの呼びかけや中学・高校から参加証明書が配布された。</p> <p>◇市で地区の防災訓練日時をまとめ配布してくれるようになり、子どもたちに参加を促しやすくなった。(山田小)</p> <p>◇2月に各町内会長に通知を出し来年度の予定(お祭り、防災訓練、清掃など)を教えもらい、生徒に参加を呼び掛け、参加証明書を学校に提出させた。(山田中)</p> <p>◇以前、地区の防災訓練の中学生参加率が0%だったが、1年目30%、2年目50%になった。今年度は70%が目標。こちらが参加を訴えれば参加率が上がることを実感した。(山田中)</p> <p>□中学3年生は部活が終わった時期の訓練だと、参加が多くなる。</p>	<p>◇今年も学校からの参加の呼びかけと参加証明書発行をお願いしたい。</p> <p>◎各町内会は中学生の訓練での役割を検討してほしい。やりがい生まれる。</p> <p>◇学校に地区行事の情報を教えて欲しい。行事に参加し、地域の人に子どもたちを知ってもらうことは重要。</p> <p>◇中学生は9・10月は部活の新人戦がある。訓練時間を試合時間と調整する工夫をしてほしい。</p> <p>◆小中高共通のカードを用意し、訓練参加でポイントがたまると市長から図書券が進呈されるなど、訓練参加率をあげる工夫を市もしてほしい。</p>	<p>自治会</p> <p>小学校</p> <p>中学校</p> <p>自治会</p> <p>校区全体</p>	<p>⇒◇小中学校からの呼びかけや参加証明書で子どもの参加が増加。</p> <p>⇒◇中学生の訓練参加率が年々上昇している。</p>
⑥地域と幼・小・中学校の連携			
<p>●町内会だけでは住民の参加に対する強制力がない。</p> <p>◆地域の特性にあわせた独自の避難経路マップ・災害マニュアルを作成している。(旭ヶ丘幼稚園)</p> <p>◇二次避難場所は山田小なので、小学校まで歩く訓練も実施。(旭ヶ丘幼稚園)</p>	<p>●幼稚園・高校も含めて地域全体で協力していきたい。</p> <p>◆訓練のポスターを幼稚園に掲示し保護者へ参加を呼び掛けるなど、地域と協力していきたい。(旭ヶ丘幼稚園)</p> <p>◇◆地域連携と情報収集が課題。状況にあわせた避難や地域の援護が必要になる。園の存在を知ってもらうためにも、なるべく地域の行事には参加したい。</p>	<p>幼稚園</p>	<p>⇒◆園で独自の避難経路マップ・災害マニュアル作成。</p>

現況	課題	担い手	結果・実績
<p>●学校は避難所だが子どもの命が優先。保護者が引き取りに来るまでは学校で子どもを預かる。(山田小)</p> <p>●今年、小学校より旭ヶ丘幼稚園を優先させた引き渡し訓練を行い、スムーズにできた。(山田小)</p> <p>●マニュアルが変わり、震災時は集団下校でなく保護者へ引き渡すことになった。引渡し訓練は保護者の関心が高く参加率は80%だった。(山田中)</p> <p>◇中学生は戦力になるのですぐ自宅に帰したいと考えていたが、父兄のアンケートの結果、引き取りまで学校で待機させて欲しいという意見が多かった。考え方にずれがあるように感じた。</p> <p>◆中学校では年間の行事はほぼ出来上がっていて、新たな訓練の設定は困難。</p> <p>◆山田中の場所は土砂災害が懸念される。山田川沿いに急斜面がある。(山田中 PTA)</p> <p>□旭ヶ丘町内会は、毎年秋に300人規模で山田市営住宅と合同で訓練を実施。最近、中学生の参加が増えている。今年はPTAから中学生のまとめ役の選出の報告がなかったので、昨年の方にそのままやっていただくということになった。(旭ヶ丘)</p>	<p>●災害時、子どもたちが周りの人にどう声をかけ、どう動いたらいいか学べるようにしていきたい。(山田小)</p> <p>●今後は中学校とも連携していきたい。</p> <p>●災害発生当日に親が迎えに来られない場合、備蓄物資に子ども達の食料が確保されていないことが問題。</p> <p>◆参観日などにPTA・保護者も巻き込み部分訓練を行なってほしい。防災知識を小・中学生のうちに教え込みたい。</p> <p>◆下校時に震災が発生した場合の対応が必要。山田川を越えたら家に帰るなど具体的な指導をしてほしい。</p> <p>□中学校で地域ごとの責任者を選出してほしい。中学校で選出してもらえると、まとめ役(責任者)が継続するので、そういったシステム作りをお願いしたい。</p> <p>□地域の組織の中で、PTAが役割を持った方がいいのか？学校で決めるには、PTAとの話し合いが必要になってくる。</p>	<p>小学校</p> <p>幼稚園 小学校 中学校</p> <p>中学校</p> <p>小学校 中学校 PTA</p> <p>小学校 中学校 自治会</p>	
⑦避難所運営			
<p>●◇避難所運営マニュアルを作成。全職員、町内会、自主防災会、危機管理課、現地配備員に配布した。地域防災連絡協議会があり、学校に避難所を設置する訓練を行う。(山田中)</p> <p>◇災害時の情報の集め方、流し方がはっきりしていない。連合会を使うのか、校区または学校の方で集めるのか、わからないと混乱する。</p> <p>●山田中学校校舎にタンクが無く電気が止まると水が不足する。</p> <p>●◇学校に来れば食糧と毛布が与えられるわけではない。</p>	<p>●職員が学校にいない場合、地域の方に避難所運営をしてもらう必要がある。</p> <p>◇災害時の情報収集、共有の方法を明確にしてほしい。</p> <p>●市の教育委員会にタンク設置をお願いしたい。</p> <p>●二次避難地である学校に来るときは、3日～1週間分の食料を持参してほしい。住民に意識を変えてもらいたい。</p>	<p>校区全体</p> <p>各団体</p> <p>市 中学校 校区全体</p>	
<p>◇郵便ポストに避難所は山田中と張り紙がしてある。それを見ると住民は、一次ではなく二次避難所に行ってしまうのではないかと。</p> <p>○自治会連合会の地区の分け方を校区別にしてくれれば、避難所の問題を解決できる。</p>	<p>◎市内全ポストに二次避難所名を明記した。地区住民でない被災者へ避難所の案内をしていると理解してほしい。</p> <p>○地区の分け方について役員として働きかけるが、市も考えてほしい。(旭ヶ丘、山田)</p>	<p>自治会 市</p>	

	現況	課題	担い手	結果・実績
2. 地域の連携				
①協議会の再建				
	<p>□62 歳になる。25 歳の時、山田小校区に体育協会がなかったため、4 人の発起人で山田学区の体育協会を作った。現在の体育振興会の前身であり、当時は大勢の人が集まったが、学区の体育振興会は徐々に斜陽化し消滅してしまった。</p> <p>□当時、体育協会ができて活動が活発になった時に、学区の町内会の協議会がないのはおかしいということで、学区の協議会を1～2 年遅れで作った。自分も手伝ったが、内容はほとんど体育協会任せの行事だった。町内会長が何かするというより、体育協会のための学区の協議会だったと思う。今は協議会も無くなってしまっている。</p> <p>◇協議会がなくなり体育振興会の予算もなくなってしまった。</p> <p>◇□体育振興会は今までは各町内から2名出ているが、協議会とともに振興会も解散した。現在2 人だけで行っている状況。(体育振興会)</p>	<p>□防災のこともあり、町内会長や学区の関係団体が集まって、情報交換や色々なことを協議する機会は、とても大切。ただし、無理して何かするのは考えものだと思う。</p> <p>◎市も協議会は必要だと考えている。課題を解決するという意味でも、今後、協議会について検討してほしい。</p> <p>◇ぜひ協議会を再建して体育振興会に予算を回してほしい。</p>	<p>自治会 体振会</p> <p>校区全体</p>	
	<p>◇町内会長だった時、体育振興会と一緒に運動会を行った。運動会を通じて旭ヶ丘、初音台、三恵台のネットワークができた。</p> <p>◇民間活動のボランティアは専門性があり色々な情報を持っている。</p>	<p>◇校区の協議会の中で各自治会長が話し合える環境が必要。その為にも校区の協議会をまず立ち上げたい。</p> <p>◇自治会との連携のため山田学区協議会をまた立ち上げてほしい。(民生委員)</p> <p>◇自治会と民間の活動団体を行政がうまくコーディネートしてほしい。</p> <p>◎自治会はNPO 等専門知識を持った団体に上手にサポートしてもらって関係を築くとよいと思う。</p>	<p>自治会 民生委員</p> <p>市 各団体</p> <p>自治会 各団体</p>	
②運動会(スポーツフェスティバル)の開催				
	<p>●町内会で運動会を0からやろうとすると負担が大きい。(山田中 PTA)</p> <p>●中学の綱引きが好評だったため、小学校でも父兄競技を行なった。平日開催だったがかなりの父兄が集まった。</p> <p>◇山田中の体育祭で3年綱引きの優勝クラスと父親チームが対戦する試みを実施している。地域とのつながりが深まる。(山田中)</p> <p>●運動会を開催できないのは組織の問題。運動会やお祭りを開催する基盤の組織作りができていない。(山田)</p>	<p>●まず学校と地域がコラボし、少しずつ地域の方が参加できるようにしていきたい。</p> <p>●自治会と協力しながら、若い方が参加できる行事を考えていきたい。</p>	<p>PTA</p> <p>中学校 小学校 自治会</p>	<p>⇒●◇小中学校の体育祭で父兄と生徒で競技実施。</p>
	<p>◇各町内会長に運動会の説明会を行う。各自治会長にぜひ出席していただきたい。(体育振興会)</p> <p>◆今年ではじめて地区運動会を実施した。</p> <p>◆スポーツフェスティバルに楽しく参加した。役員が熱意を感じた。(民生委員)</p> <p>◆スポーツフェスティバルに参加することで新たな交流がはじまる。学区だけではなく、学区外の町内も巻き込むことが参加者増加につながる。(スポーツ推進委員)</p>	<p>◇体育振興会の位置づけを明確にして、バックアップしてもらえないか。半日でもいいので運動会を実施したい。</p> <p>◇運動会は高齢者向けの種目を考えてくれば高齢者も参加できる。</p> <p>◆町内で温度差がある。町内会・自治会・民生委員などの普段からの連携が重要。</p>	<p>体振会 スポ推委 自治会</p> <p>校区全体</p>	<p>⇒◆はじめて地区運動会を実施。</p>

現況	課題	担い手	結果・実績
③運動会と防災訓練の合同実施案			
<p>◇訓練と運動会を絡めるのはいい案。生徒数が少ないので体育祭は半日で終了する。(山田中PTA)</p> <p>◆防災訓練と運動会の同日開催は白紙の状態。(スポーツ推進委員)</p>	<p>◇地域の運動会と防災訓練をかねて防災訓練会のようなことができないか。皆が楽しく参加でき防災訓練でもある運動会を考えていきたい。(若松町)</p> <p>◇体育祭の奉仕作業後、ちょっとした防災訓練を行うといいのではないかな。</p> <p>◆これから話し合い、訓練と運動会を融合させていきたい。</p> <p>◆スポーツフェスティバルの中で小・中学生参加の防災競技や、防災知識を得る講演などを検討していきたい。</p> <p>◎梅名では地域の運動会と防災訓練を合わせて実施している。参考にしてほしい。</p>	<p>自治会</p> <p>中学校</p> <p>スポ推委 体振会 自治会</p>	
④子どもの見守り			
<p>○山田小学校は学区が広いので、遠い子は徒歩40分ほどかかる。</p> <p>□PTA では校外指導部を中心に、地区ごとに日程を決めて見守りを行なっているが、毎日ではないので、各地区でボランティアが見守りをやってくれている。</p> <p>□家にいる方は、なるべく子どもたちを見守ってほしい。</p> <p>□加茂インターができて、交通量が増加。信号のない横断歩道がいくつかあり、スピードを出して走ってくる車も多く、すごく怖い。小学校で信号のない横断歩道は渡らないよう指導しているが、放課後の遊びや習い事の行き帰り等、渡る子が多くて怖い。</p>	<p>○登下校の安全について子どもたちの意識を高めたいが、地域の協力も必要。(山田小)</p> <p>◎登下校時の見守りは、町内会の集まりなどでボランティアを呼びかけるなど、見守りの体制作りを進めてほしい。</p> <p>□下校時には窓から様子を見るだけでも違うと思う。子ども達に安全な環境を作ってあげてほしい</p> <p>□赤い塗装をする、信号を設置するなどの対策をお願いしたい。</p> <p>◎町内会からも要望を受けている。信号機は警察の所管なので、お願いはしているがすぐには難しい。市としてできることは看板の設置などになる。</p>	<p>校区全体</p> <p>市</p>	
⑤住民のふれあいの場づくり			
<p>○3年前に子ども会は解散し、老人会は崩壊寸前。町内会を抜きたいという人もいる。(山田)</p> <p>△老人会とか敬老会とか、名前が良くない。老人という言葉が嫌がる。「高齢者」という表現が良いのでは。</p> <p>○今年老人クラブが解散した。(三恵台)</p> <p>○子ども会衰退の主な原因は親が忙しくて子ども会活動に参加できないことだと思う。(三島市子ども会連合会)</p> <p>□球技大会をやる場合でも、盛り上げたり、助けてくれる「世話人」が減ってきている。子ども会独自でやるのは年々難しく、「だからやめよう」という子ども会も増えている。</p> <p>◎北小はPTA 育成部部長が子ども会地区長を兼ねているので、ドッジボール大会はPTA と子ども会共催で開催している。ぜひ地域で連携し、子ども会活動のサポートを考えてほしい。</p>	<p>○子ども会だけで活動を行うのは困難なので、自治会などの周りの人たちの協力が必要。</p> <p>□自治会や老人会、他の地区ではおやじの会など、色々な方に助けてほしい。その為には、子ども会からも声を発していかななくてはならない。ぜひ何か目についたら助けて頂ければと思う。</p> <p>□山田小学校にはおやじの会があり、その辺はまたおやじの会の方で話し合いたいと思う。</p>	<p>子ども会 老人会 各団体</p>	
<p>◆□昨年度、集会場の増築が終了した。住民の交流を深めるため、6月から「旭ヶ丘カフェ」を水曜と土曜午後に開き、囲碁・将棋・マージャン・健康体操・おしゃべりなどの催し物を始めた。始めて一か月間で、116名の参加があった。(旭ヶ丘)</p>	<p>□小学生から高齢者の方まで交流が深まり、ボランティアを中心に楽しい雰囲気になっている。さらに活動を広げていきたい。</p> <p>□包括支援センターの健康体操や、医学療法士や民生委員等の指導</p>	<p>自治会</p>	<p>⇒□「旭ヶ丘カフェ」を開催。(水曜と土曜午後)</p>

補足資料

	現況	課題	担い手	結果・実績
	<p>□今年度から、山田地区では初音台、三恵台、旭ヶ丘で、「地域のふれあいの場づくり」を始めた。閉じこもり予防を目的としている。(地域包括支援センター)</p> <p>□三恵台の入口左側に、雑草が生えた空き地がある。そこを借りて、今「フラワーレッドワーク(仮称)」という名前で、回覧で花壇づくりの募集をかけている。(三恵台)</p> <p>□山田小 PTA では、体育振興会と協力して、10月に「スポーツフェスティバル&山田小交流行事」を一緒にやろうと計画。地域の関連団体の方に多く参加してもらおうと、小・中学校、色々な所に参加の要請を出している。(山田小PTA)</p>	<p>のもと介護予防(口腔ケアや認知症ケアなど)を取り入れていく(月 1~2回)。皆さんの協力を得て活動していきたい。</p> <p>□本当に閉じこもっている方に来て頂くなど、参加者を増やしていきたい。町内会の力をお借りしたい。</p> <p>□地域がきれいになれば、防犯にも役立つ。</p>	<p>地域包括支援センター</p> <p>自治会</p> <p>小PTA 体振会</p>	<p>⇒□「地域のふれあいの場づくり」を始めた。</p> <p>⇒□空き地を利用した花壇作りを始めた。</p> <p>⇒□「スポーツフェスティバル&山田小交流行事」を計画。</p>
	<p>□5 町内ほど、錦田地区自治会連合会に入っているが、なじみがない、生活圏がないこともあり、そこへ町内会長が行って協議するのもまったく身が入らない。</p>	<p>□町内会長の連合会を小学校区でできないものか。そうなれば、防災の面でもうまくいくと思う。</p> <p>◎自治会は自主的組織のため、市から指導するわけにはいかない。自治会連合会の会議でそのような提案をして頂きたい。</p>		